

3 月定例会の日程

《2月》

21日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、
予算大綱説明、議案説明など〕
予算審査特別委員会

《3月》

3日 本会議〔一般質問〕
4日 本会議〔一般質問〕
5日 本会議〔一般質問〕
7日 総務委員会
10日 経済委員会
11日 文教委員会
12日 予算審査特別委員会
13日 予算審査特別委員会
14日 予算審査特別委員会
17日 予算審査特別委員会
19日 本会議〔委員長報告、質疑、討論、
採決など〕

たい。

●衛生費

予防疫種事業

問 予防疫種の個別化が26年度から可能になるということだが、小児科医院の数は足りているのか。また、周知の方法は。

答 4月からの個別接種化にあわせて市民病院でも多くの予防疫種を受けられるようになる。周知については4月の広報紙とともに健康ガイドの全戸配布を予定している。また、市内医療機関において予防疫種等の予定が掲載されたスケジュール表を配布している。

●農林水産業費

新規漁業就業者支援補助金

問 新聞等にも広く報道され、非常に手厚く良い支援だと感じているが、問い合わせ等の状況や、研修生を受け入れる体制はどうか。

答 発表後、市役所に直接問い合わせが2件あった。水産庁が行う独立型長期研修支援に上乗せの補助をするものであり、この取り組みは県内初と聞いている。受入漁家については、これから把握していく予定で、制度について、漁協、漁家に、しっかりと理解していただけるよう進めていきたい。

●商工費

子ども読書活動推進事業

問 緊急雇用創出事業のうち子ども読書活動推進事業があるが、どのような内容か。

答 学校、児童館、子育て支援センター、保健センター、児童クラブ、公民館等にある図書室の環境整備、本の読み聞かせやブックトーク（本の紹介）を行う予定をしている。

●消防費

防災用の備蓄食糧

問 市内に定住されている



防災備蓄食糧

方だけではなく、仕事や観光で蒲郡に訪れる方も多い。その方たちの対応は。また、糖尿病の方等に配慮した食糧の備蓄は。

答 市内在住の方以外に市外からの帰宅困難者9000人分に対応する食糧を備蓄している。また、企業にも独自に備蓄をしてもらうよう啓発していきたい。糖尿病対応の食糧も3000食の備蓄をしている。

●教育費

市民プールの代替事業

問 26年度は市民プールの代替事業を拡大するとのことだが、内容は。

答 中央小学校のプールについては常時オムツをしない幼児まで対象の拡大を検討している。また、対象の方に同行等してこれら市外の方にも柔軟に対応していきたいと考えている。ラグナシアのプール利用助成については小中学生だけでなく、4歳以上の幼児と、幼児及び小学校低学年までの児童に同伴する保護者も対象にしていきたいと考えている。

●公債費

臨時財政対策債

問 臨時財政対策債が膨れ上がっているが、どのように収束させていくのか。

答 臨時財政対策債は、標準的な市政運営をするために地方交付税の不足する部分を市で起債するものである。そのため、後年度に元利償還金相当額が地方交付税の基準財政需要額に算入されるので理論的には蒲郡市の財政運営に支障は出ないと考えている。



利用助成の拡大をするラグナシアのプール

●歳入
個人市民税の増収